

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	国語
科目基礎情報					
科目番号	0016		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 3	
開設学科	知能機械工学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	3	
教科書/教材	「現代文B」(数研出版)、「新編古典」(東京書籍) / 『基礎からの国語表現の実践』(京都書房)、『標準漢字演習』(とうほう)				
担当教員	宮本 克之,小笠原 愛子				
到達目標					
1、文章の客観的理解により、人間・社会・自然などについて考えを深め、広げることができる。 2、文学作品について、鑑賞の方法を理解できる。また、代表的な文学作品について、日本文学史における位置づけを説明できる。 3、現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字、熟語の構成、ことわざ、慣用句、同音同訓異義語、単位呼称、対義語と類義語塔の基礎的知識についての理解を深め、その特徴を把握できる。また、それらの知識を適切に活用して表現できる。 4、代表的な古文・漢文について、日本文学史および中国文学史における位置づけを理解し、作品の価値について意見を述べることができる。 5、社会で使用される言葉を始め、広く日本語を習得し、その意味や用法を理解できる。また、それらを適切に用い、一般的な社会的コミュニケーションとして実践できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	説明的文章の論理展開、要旨を的確に理解することができる。		説明的文章の内容が理解できる。		説明的文章の内容が理解できない。
評価項目2	文学的文章について作品の特色、主題を理解することができる。		文学的文章について場面や状況、心情を読み解くことができる。		文学的文章の内容が理解できない、。
評価項目3	応用的な自己表現をすることができる。		基本的な自己表現をすることができる。		基本的な自己表現ができない。
学科の到達目標項目との関係					
D					
教育方法等					
概要	近代以降の文章のうち、論理的な文章を客観的に理解する能力と、文学的な文章を多角的に鑑賞する能力を伸ばすとともに、視野を広げ、感受性を磨こうとする主体的な態度を培うことができる。 古文では読解・鑑賞の方法を修得し、思考力と言語感覚を養うとともに、日本文化に対する知見を深める。				
授業の進め方・方法	授業の進め方については講義・演習形式を併用する。				
注意点	ふだんから日本の言語文化、日本語表現に興味や関心を持つこと。また、幅広いジャンルの読書を行なうことで読解力の向上を目指すこと。				
授業の属性・履修上の区分					
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応	
☐ 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス	国語を学ぶ目的や「ことば」を学ぶ方法や意義について、理解できる。	
		2週	評論「手の変幻」① 「土佐日記」李白の詩等	評論文を正確に読解することができる。	
		3週	評論「手の変幻」② 「土佐日記」李白の詩等	評論文の各段落の要点をまとめることができる。	
		4週	評論「手の変幻」③ 「土佐日記」李白の詩等	筆者の論理について考えたことを発表することができる。	
		5週	表現① 「源氏物語」 雑説等	美や芸術に関する意見文を書くことができる。	
		6週	評論「胆力について」① 「源氏物語」 雑説等	評論文を正確に読解することができる。	
		7週	評論「胆力について」② 「源氏物語」 雑説等	評論文の展開の仕方について理解することができる。	
		8週	評論「胆力について」③ 「源氏物語」 雑説等	評論文を読み、論理的に意見を発表することができる。	
	2ndQ	9週	詩歌「発車」ほか① 「奥の細道」 出藍營等	作品をふまえ、現代詩読解の方法が理解できる。	
		10週	詩歌「発車」ほか② 「奥の細道」 出藍營等	作品をふまえ、現代詩の鑑賞文を書くことができる。	
		11週	小説「山月記」① 「奥の細道」 出藍營等	小説を読み、内容を理解することができる。	
		12週	小説「山月記」② 「奥の細道」 出藍營等	小説を通じて読解能力を養うことができる。	
		13週	小説「山月記」③ 「去来抄」 論語等	小説を読解し表現の特色についてまとめることができる。	
		14週	小説「山月記」④ 「去来抄」 論語等	小説を読解し作品について感想を発表することができる。	
		15週	期末試験	期末試験に取り組むことができる。	
		16週	試験返却・解説	試験を振り返り、できなかった問題を解くことができる。	
後期	3rdQ	1週	評論「日本語は非論理的か」①	評論文を正確に読解することができる。	
		2週	評論「日本語は非論理的か」②	筆者の論点をまとめることができる。	

		3週	表現②	日本語表現の特色を中心に感想文を書くことができる。
		4週	評論「文学のふるさと」①	評論文を正確に読解することができる。
		5週	評論「文学のふるさと」②	論理の展開について理解することができる。
		6週	表現③	作品の主題について感想文を書くことができる。
		7週	短歌①	短歌の内容を理解し、表現の特色について考察できる。
		8週	短歌②	短歌を理解するとともに、作者の心情について考察できる。
	4thQ	9週	短歌③	好きな短歌を選び鑑賞文を書いて発表することができる。
		10週	問題演習②	語句に関するする演習を行い確認することができる。
		11週	小説「こころ」①	小説を読み、内容を理解することができる。
		12週	小説「こころ」②	登場人物の心理を文章から読み取ることができる。
		13週	小説「こころ」③	表現の特色や表現技法について理解できる。
		14週	小説「こころ」④	作品の主題について、まとめることができる。
		15週	期末試験	期末試験に取り組むことができる。
		16週	試験返却・解説	試験を振り返り、できなかった問題を解くことができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	前2,前3,前14,後1
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	前4,前5,後2,後13
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	前8,後1,後2
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	前6,後6
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	前13,前14,後2
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	前8,後7,後14
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	3	前6,前7,後3
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3	前9,前13,後5
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	前9,前10,前11
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	3	前10,前11,後10,後13
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	3	前12,後2,後13

評価割合

	試験60	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題その他40	合計
総合評価割合	60	0	0	0	0	40	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	40	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0